

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 3 1

2 0 1 7 年 3 月 6 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

JREユニオン 第2回新賃金交渉

# 人材確保と技術継承を最重要課題に！

**JR東日本の未来に向けた、維持・発展をめざす考え方を主張**

JREユニオンは、3月3日、「申第4号」賃金引上げに関する申し入れ団体交渉を行い、経済情勢や経営状況等について、会社側と議論を交わした。

会社側は、経済を取り巻く情勢と今期の経営動向などの説明があり、先行き不透明感が増す中、慎重な判断が求められるとの考え方が示された。また、グループ会社を含め、人材確保、働く喜びや誇りといったモチベーション、職場の在り方、意識の醸成が大切出るとの見解が示された。

議論の中では、グループ一体となった労働条件や全体のモチベーションの底上げと経済の好循環に寄与するための賃金引上げの必要性など、掘り下げた議論を行った。

組合側からは、職場において、新人事賃金制度が有効・有益な反映が見られるよう、現場マネジメントに関わる管理者の指導育成を求める提言などを行った。

JREユニオンは、JR発足30年にあたり、さらなる先の30年に向けて、組織一丸となって闘いを推し進めるとしている。